

11月7日のウクライナ情報

安齋育郎

①トランプ vs ハリス:無作為に選んだロシアのタクシー運転手にインタビュー (2024年11月4日)

「トランプはロシアとの関係改善やウクライナ紛争を何とかしてくれるかもしれない」

「米国民は気の毒だ、すべてはエリートたちの権力闘争だから、国民の声はほとんど意味をなさない」

「ロシアは独立のため、アメリカは植民地政策を維持するために戦っている」

「どのみち戦争は続く、ウクライナではなく、イスラエルとイランを巻き込んだ別の戦争を準備中だからだ、アメリカは二正面作戦をしたくないだけだ」

「トランプはタフだから好きだ、老人バイデンや、くだらないことしか言わないカマラとは違う」

「トランプについて私が一つ言えることは、彼の任期中(2016年~2020年)に戦争が一つもなかったということです」

「トランプが何を言ったかはあまり重要ではない、まずは権力を握り、実際に何かをする必要があると思う、言うだけなら誰にでもできるから」

「誰を選んでもすべては変わらない、物事を動かすのは大統領ではなくエリートだから、大統領はピエロのようなものだ」

<https://x.com/i/status/1853086593701253573>



<https://x.com/Tamama0306/status/1853086593701253573?s=09>

②ミアシャイマー教授は、ウクライナ戦争の交渉による解決は見込めないと予想(2024年11月4日)

問題は、プーチン大統領が非常に厳しい交渉を迫ってくることだ。

ジョン・ミアシャイマー教授:ウクライナを NATO に加盟させることは、近代史において大国が下した最も破滅的な決断の一つだった。

私は主に米国を非難する。

<https://x.com/i/status/1853345866800885896>



https://x.com/ivan_8848/status/1852893414125101508

③ロシア軍がウクライナの要塞を占拠した後に公開した戦利品(2024年11月4日)
ワッペンがいっぱいあるねえ。ナチスのシンボルも。



<https://x.com/Tamama0306/status/1851178594401415580?s=09>

④ゼレンスキーの「勝利計画」で各国のウクライナ支持が低下(2024年10月29日)

ゼレンスキーの「勝利計画」でウクライナへの支持率が各国軒並みダウンですって。フランスの AFP 通信が伝えてますよ。泥舟に乗ってどうする。

<https://x.com/i/status/1851015672597233735>



https://x.com/jupiter_russia/status/1851015672597233735?s=09

⑤欧州経済は終わり？3人の中央銀行家が語るヨーロッパの苦境(2024年11月4日)

今日は、ヨーロッパの金融経済システムの未来について議論するために、専門家のパネルを開催しています。プロフェッショナルな見識を共有してくれることに同意した3人の元中央銀行家をお迎えできることを嬉しく思います。まず、2010年から2012年までセルビア国立銀行の総裁を務めたデヤン・シヨシュキッチ教授が参加しています。次に、2010年から2016年までチェコ国立銀行の総裁を務めたミロスラフ・シンガーが参加しています。そして最後に、2004年から2014年まで10年間アルバニア銀行の総裁を務めたアルディアン・フラニが参加しています。

<https://youtu.be/NHc9nJhqsAA>



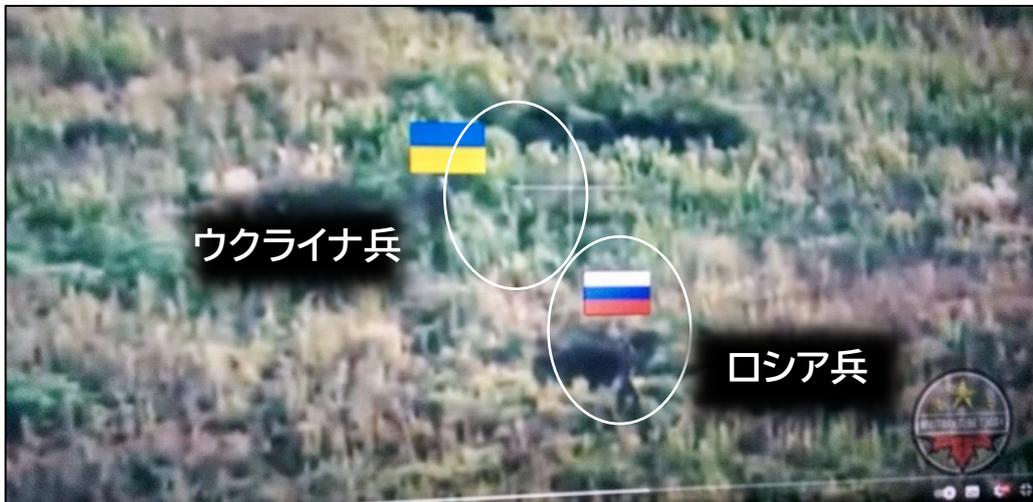
<https://www.youtube.com/watch?v=NHc9nJhqsAA>

⑥ロシア兵がウクライナ軍の護衛から逃げる様子をご覧ください！（2024年11月3日）

MILITARY TUBE TODAY - 動画にあるように、前線のある場所に2人の兵士がいて、偶然にもロシア兵がウクライナ兵に銃で捕らえられようとしている。ロシア特派員がテレグラムチャンネルで短い動画を公開した。2024年11月2日、ロシアのドローンが壮大な瞬間を記録し、ウクライナ軍の場所でウクライナ兵がロシア兵を誘導する様子が映し出された。厳重な警備の中、ウクライナ兵は自信を持って空に向けて警告射撃を数回行い、ロシア兵をすぐに指揮官に引き渡せることを期待しながら、フィールドをたどった。成功するどころか、すべてが360度悪夢に変わった！

ロシアのドローンオペレーターが最初から綿密に監視していたため、ウクライナ兵の護衛の瞬間は両刃の剣のような悲劇に変わった。ロシアのドローンはすぐに爆発物を積んだ迫撃砲を投下し、警備員の陣地を直撃した。正確ではなかったものの、迫撃砲の破片は護衛兵を排除することに成功し、ウクライナ兵を素早く排除したため、ロシア兵は自力で助かるチャンスを得た。敵が排除されたことを確認したロシア兵は捕獲を免れ、その場所から急いで逃げ去った。

<https://youtu.be/F8fBllooHnk>



<https://www.youtube.com/watch?v=F8fBllooHnk>

⑦特別軍事作戦 11月04日の概要 露国防省(2024年11月4日)



露軍「ザーパド」隊(西方面隊)は、過去24時間でウクライナ軍の拠点43カ所を奪取。砲撃拠点9カ所、衛星通信スターリンクの基地2カ所、無人機操縦拠点8カ所を破壊した。

「ユク」隊(南方面隊)の守備範囲におけるウクライナ軍の過去24時間の損失は、最大で490人

に上る。

「ポストーク」隊（東方面隊）は、仏製自走榴弾砲カエサルを破壊。同隊が対峙するウクライナ軍部隊の過去 24 時間の損失は、最大で 110 人に上る。

「セーベル」隊（北方面隊）はハリコフ方面でウクライナ兵 25 人以上を撃破した。

<https://sputniknews.jp/20241104/----1104-----19282029.html>

⑧ウクライナ緊急支援を訴える UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の認識違い

激動する世界情勢の中でウクライナへの関心は薄れつつありますが、2024 年に入ってからウクライナ各地で激しい攻撃によって多数の死者・負傷者が出ています。7 月 8 日朝、ウクライナのキーウ、ドニプロ等を標的にしたロシアのミサイル攻撃により、キーウの小児病院を含む建物やインフラが大きな被害を受け、多くの民間人が死傷したことが報告されています。

UNHCR は、甚大な被害を受けた小児病院付近の家屋に住む家族に緊急シェルターキットを手配。また、心理社会的支援、法的支援、現金給付支援も実施します。

加えて、8 月 26 日以降、複数都市に大規模な攻撃が展開され、多くの家々、インフラが破壊されたのみならず、多数の犠牲者が出ています。UNHCR は現地にとどまり、パートナー団体と共に、救援物資の提供、ID の再発行、現金給付支援、心理社会的サポート等、ウクライナの人々への救援活動を続けています。

各地で繰り返される攻撃はこうしている今も多くのウクライナの人々に大きな苦悩を与えているにもかかわらず、以前のように大きく報じられることはなくなりました。

どうか、忘れないでください。ウクライナでは今でも各地で砲弾が降り注ぎ、多くの民間人の命と生活が脅かされ、そして支援を必要としていることを。

OCHA
国連人道問題調整事務所



これは 2024 年 7 月 8 日のキーウ小児病院爆撃の写真ですが、着弾したのはロシアの Kh-101 ではなく、ウクライナに供与されているアメリカ・ノルウェーの NASAMS ミサイルです。詳しくは『ウクライナ戦争論』を参照のこと。

ミサイル攻撃を受けたキーウの様子(?)

https://www.japanforunhcr.org/appeal/ukraine?utm_source=gd&utm_medium=banner&utm_campaign=JA_JA_P-MAX_ua&sc_campaign=4CC755E63EE54715AEFF0442A7B13404&gad_source=5&gclid=Cj0KCQiAqG5BhDTARIsAA0UHSJtTCjCU3h6joCXuIcfcAJ0JDWoum12msHdH8qCus0kbK9SH4hdwwcaAhriEALw_wcB

⑨11/5 ロシア・ウクライナ紛争】戦況とロシア軍の光ファイバー・ドローン(2024年11月5日)

今回は、戦況とロシア軍が8月頃から使い始めた光ファイバー・ドローンについてのお話です。専門用語が出てきますが分かり易くお話申し上げます。

10/30、ロシアの特殊部隊は、クルスクのスジャ市近郊でウクライナ軍の車列をこの光ドローンで破壊したといっています。

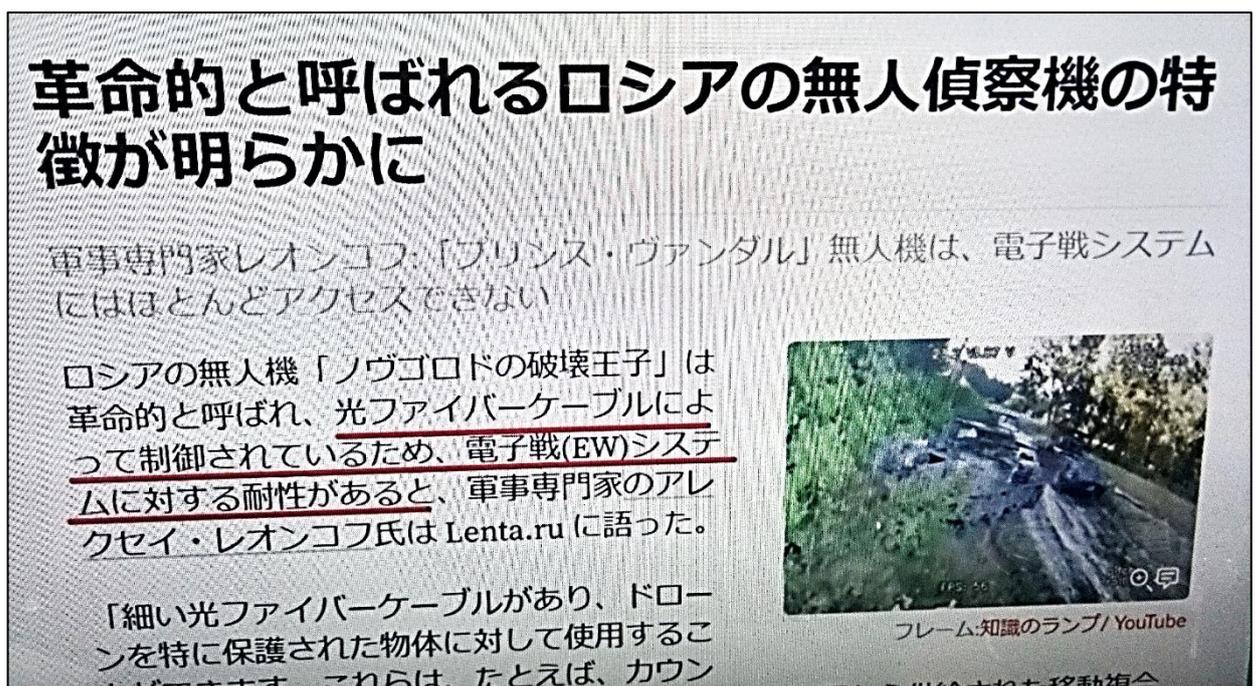
この図は 11/2 現在のロシア軍のドンバスでの攻勢を表しています。ドンバスでのロシアの進軍は速く、クラホヴェ南部の攻勢は、防衛線のない野原を通り抜けて、クラホヴェを南から包囲するように前線しています。ロシア軍は東と北からも前進し 3 方向から包囲しようとしています。ポクロフスク方向にもロシア軍は、前進しています。

クルスク戦線は、依然としてロシア軍は包囲網を縮めているようです。ウクライナ軍はそれに抵抗しているのですがドローンと航空兵力、砲兵に各個撃破されているとロシア側は言います。

光ファイバー・ドローンの制御は、この 125 μ という髪の毛よりも細いガラスの線を使って、無線ではなく有線でドローンを制御するものです。無線ではないため敵側は、電波干渉、つまりジャミングでドローンを制御不能にすることが全くできないわけです。

文字起こし

<https://youtu.be/y-2-ImHvauM>



<https://www.youtube.com/watch?v=y-2-ImHvauM>

⑩セイモア・ハーシュ、改めてノルドストリーム問題を語る(2024年8月7日)

Seymour Hersh CIA Covers Up Nord Stream Bombing & Corruption Continues in Ukraine:

シーモア・ハーシュ :CIA はノルドストリーム爆破を隠蔽し、ウクライナでの腐敗は続く。

著名なジャーナリスト、シーモア・ハーシュによると、CIA はノルドストリーム爆破事件に関与し、その事実を隠蔽している。また、ウクライナでは腐敗が続いており、関係する多くの国際的な組織にも影響を及ぼしている。

ノルドストリーム爆破に関して、CIA がその計画と実行に深く関わっている。この爆破は単なる偶発的な事件ではなく、戦略的な目的を持って行われたものであり、エネルギー供給に大きな影響を与えることを意図していたという。CIA は、この事実を隠蔽するために様々な手段を講じており、情報操作や証拠の隠滅を行っているとされている。

<https://x.com/i/status/1821129030609072441>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1821129030609072441?s=09>

〈関連情報〉

「ドイツは恥ずべきことにノルド・ストリームの屈辱的な破壊を甘受した」

ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相

<https://x.com/2Sbsc/status/1853364652450963725?s=09>

〈関連情報〉

ウクライナの4人の妨害工作員が小舟を使ったという考えは、もっともらしい説明ではなく、妄想であるとビルト紙でさえ断定している。(2024年11月5日)

「では、2年前のノルド・ストリーム爆破事件の犯人は誰なのか？ 私立捜査官と検察庁は、小型ヨットで4つの爆発物を運搬した元ウクライナ軍将校の小さなチームではないかと疑っている。これらの爆弾は数トンの重さがあり、水深90メートルの海中に設置されたと言われている。そんなことが可能なのだろうか？ 水中考古学者のスヴェン・トーマスは「ノー」とはっきり答える。彼は、このような作業にはヨットだけでなく、複数の支援船が必要だと説明する。さらに、クレーン、アンカーシステム、重さ1トン以上のバラストを備えた固定プラットフォームが必要になる。「水深34メートルまでのダイビングでは、ポンツーンは4本のアンカーチェーンで固定され、数百メートルのアンカーチェーンとケーブルを使って、ダイビングポイントでの正確な位置決めが行われる。しかし、アンドロメダ号には

25 キロのアンカーと 100 メートル近いチェーンとロープしか搭載されていなかった。また、潜水深度 90 メートルという厳しい条件を考慮すると、4 回の爆発では、爆発物の検査と設置のために最低 8 回の潜水が必要となる。ノルド・ストリームの爆発で記録された地震波形から、約 400 キログラムの爆薬が使用されたことがわかる。このような爆弾の設置は、クレーンとカウンターウェイトがなければ水中に下ろすことができない。



<https://x.com/Z58633894/status/1853606692422115348?s=09>

〈観連情報〉

2018 年のトランプ

「ドイツはロシアのエネルギーに依存しすぎていて危険だ」

↓

ドイツの外交官失笑

↓

ウクライナ紛争勃発

アメリカがノルドストリーム爆破

高い米国産を輸入(usはウハウハ)

さらに自分から安いロシア産を輸入停止

↓

国民大困窮、企業倒産の嵐

<https://x.com/Tamama0306/status/1853674673722335548?s=09>